

島田市 御中

「島田市中小企業・小規模企業実態調査」
報 告 書
(概要版)

2019年10月



【目次】

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査対象	1
(5) 調査実施期間	2
(6) 回収状況	2
(8) 備考	2
2. 郵送アンケート調査結果	3
(1) 貴事業所の概要について	3
(2) 事業の強みや課題について	9
(3) 雇用について	19
(4) 市の中小企業支援施策について	24
(5) 島田市の強み・課題について	28
(6) 経営動向について	31
3. 資料	37
(1) 郵送アンケート調査票	37
(2) 訪問調査票	47

1. 調査概要

(1) 調査目的

島田市中心企業・小規模企業振興基本条例（以下、本条例）の規定では、基本理念に沿った中小企業等の振興に関する施策を策定し実施するには、中小企業・小規模企業の実態を把握するとともに、広く中小企業・小規模企業者の意見を聴き、施策の策定に反映するものとしている。

また、平成 30 年度からの第 2 次島田市総合計画において、「世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる（工業）」を施策の柱として位置づけており、行政・事業者・関係団体等が連携し、中小企業・小規模企業の経営基盤の強化及び付加価値の高い地域産業の創出を推進することとしている。

については、市内の中小企業・小規模企業を対象として実態調査を行い、経営環境や事業活動、雇用状況、現状への課題やニーズなどを調査・分析することにより、今後の効果的な中小企業・小規模企業振興施策の策定及び実施に向けた基礎資料を作成する。

(2) 調査項目

- ① 貴事業所の概要について
- ② 事業の強みや課題について
- ③ 雇用について
- ④ 市の中小企業支援施策について
- ⑤ 島田市の強み・課題について
- ⑥ 経営動向について

(3) 調査方法

郵送調査および協力依頼コールの実施

(4) 調査対象

① 郵送アンケート調査

島田市の経済団体（島田商工会議所、島田市商工会）の会員である島田市内の個人事業主、株式会社帝国データバンクの企業情報データベースに収録された島田市内の法人事業者を抽出し、個人事業主と法人事業者の割合に合わせた層化割当抽出により計 2,000 件を対象とした。

データ元	法人格など	件数	割合
①会議所・商工会会員データ（※）	なし（屋号のみ）	1,767	69.7%
②TDBデータ	企業（株式/有限/合同/合名）	768	30.3%
合計		2,535	100.0%

上記①から1,394件（2,535×69.7%）②から606件（2,535×30.3%）をランダム抽出し合計2,000件を対象とした。

②訪問調査

郵送アンケート回収先のうち 100 件を抽出し、ヒアリング調査を実施。

(5) 調査実施期間

調査基準日 2019 年 8 月 1 日

② 郵送アンケート調査 2019 年 8 月 16 日 (金) ～9 月 30 日 (金)

②訪問調査 2019 年 11 月 日 () ～2020 年 1 月 日 ()

(6) 回収状況

①郵送アンケート調査

調査有効回答数 575 件 / 2,000 件 (有効回答率 28.8%)

※概要版においては、9 月 20 日到着分までの回収票による速報版を集計

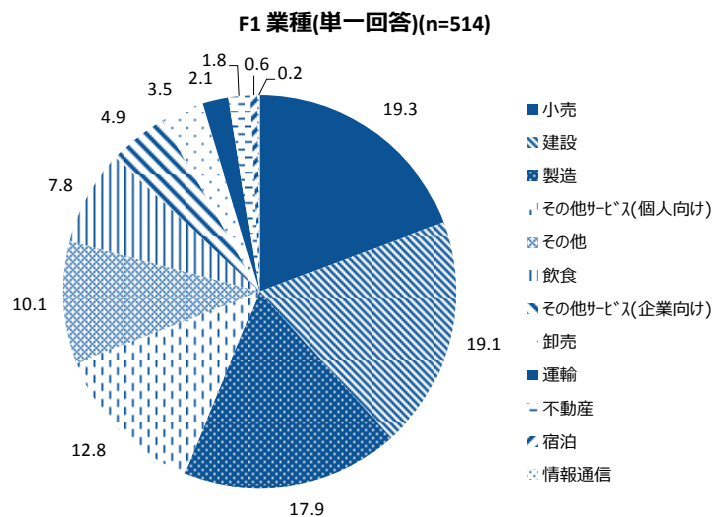
②訪問ヒアリング調査

(8) 備考

- ・ 図表中の「n」(Number of case の略) は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比 (%) を算出するための値である。
- ・ 「n」には無効回答(無回答先および設問分岐により回答権がない先など)を含めず、集計を行っている。
- ・ 報告書中の構成比は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が 100% にならない場合(99.9%、100.1%など)がある。

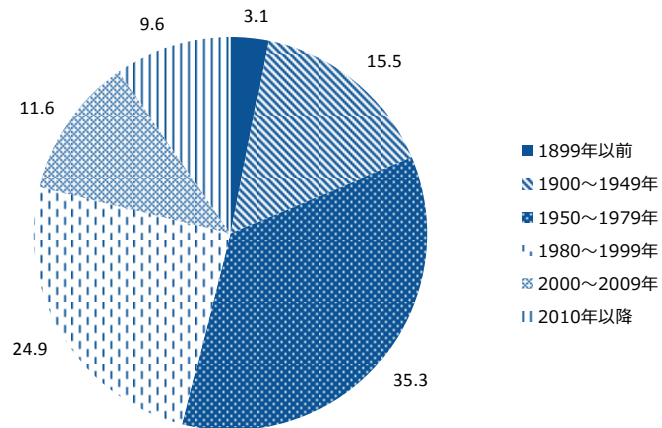
2. 郵送アンケート調査結果

(1) 貴事業所の概要について

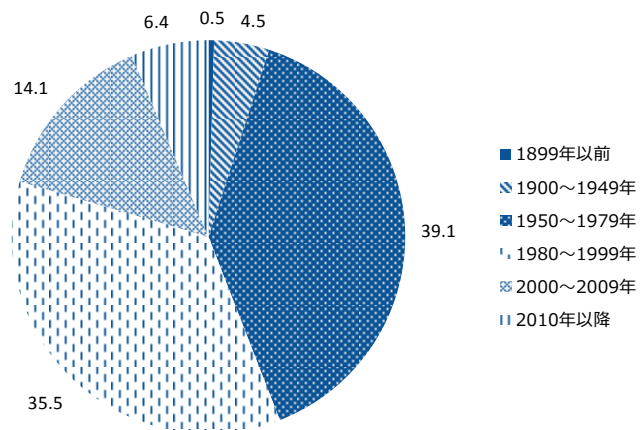


業種については、「小売」が 19.3%、「建設」が 19.1%でほぼ同程度となり、次いで「製造」が 17.9%、「その他サービス（個人向け）」が 12.8%、「その他」が 10.1%が続いている。

F2-1 創業年(n=354)



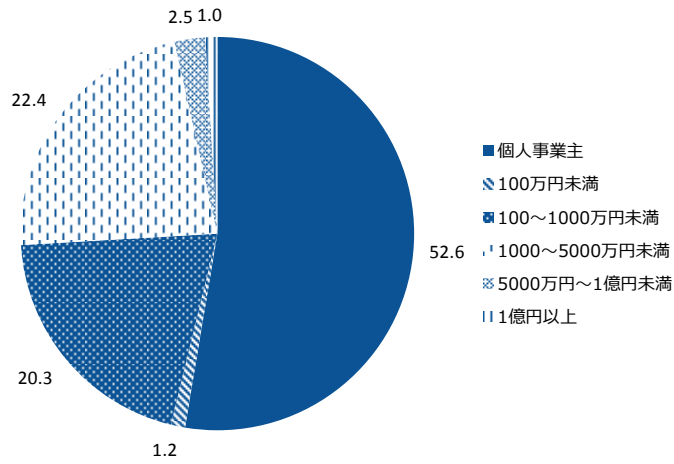
F2-2 設立年(n=220)



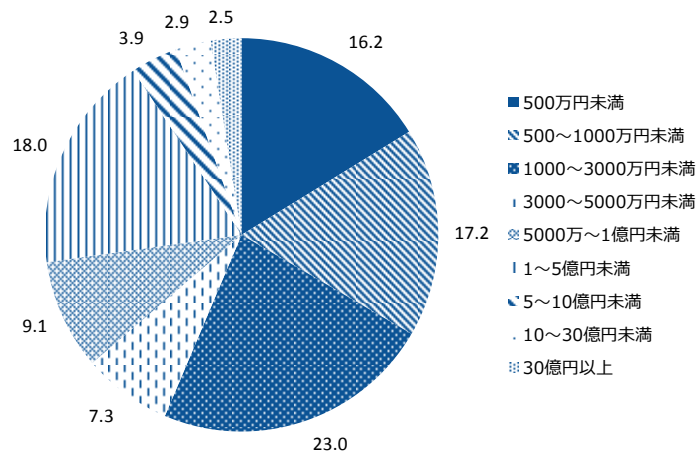
創業年は「1950～1979年」が35.3%で最も多く、「1980～1999年」が24.9%、「1900～1949年」が15.5%が続いている。1990年代以前の設立が全体の4分の3以上、1970年代以前に創業した事業者が半数以上を占める。2010年以降に創業した事業者は全体の1割弱となっている。

設立年についても、1990年代以前に設立した事業者の割合は創業年でみた場合とほぼ同じとなっている。

F3 資本金・出資金(n=513)



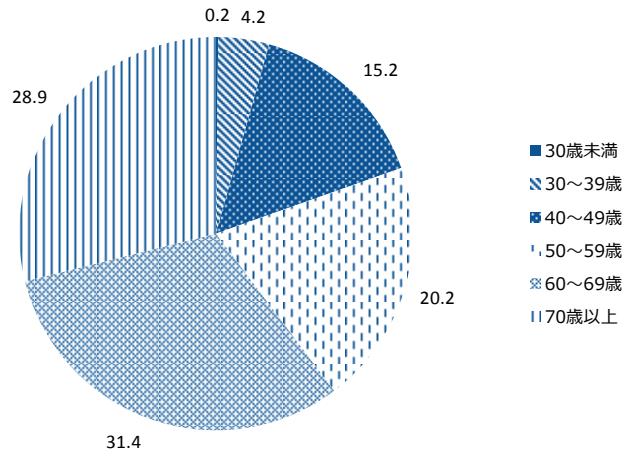
F4 年間売上高(n=518)



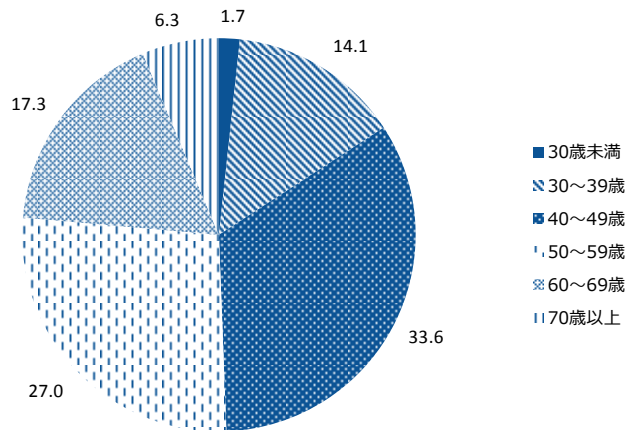
資本金・出資金については、調査対象の約7割が個人事業主であったことから「個人事業主」が最も多い。法人では「1000~5000万円未満」が22.4%で最も多く、次いで「100~1000万円未満」が20.3%となっている。「1億円以上」は全体の1.0%となっている。

年間売上高については、「1000~5000万円未満」が23.0%で最も多く、「1~5億円未満」が18.0%、「500~1000万円未満」が17.2%、「500万円未満」が16.2%と続いている。全体の7割強が、年間売上高1億円未満となっている。

F5 代表者の年齢(n=526)



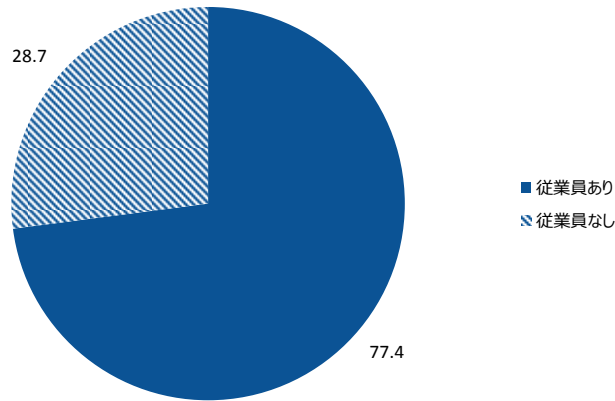
F6 従業員の平均年齢(n=411)



代表者の年齢は「60～69歳」が31.4%で最も多く、「70歳以上」が28.9%、「50～59歳」が20.2%で続いている。60歳以上が約6割に上る一方、30代以下は4.4%にとどまり、若い経営者の参入が少ないとみられる。

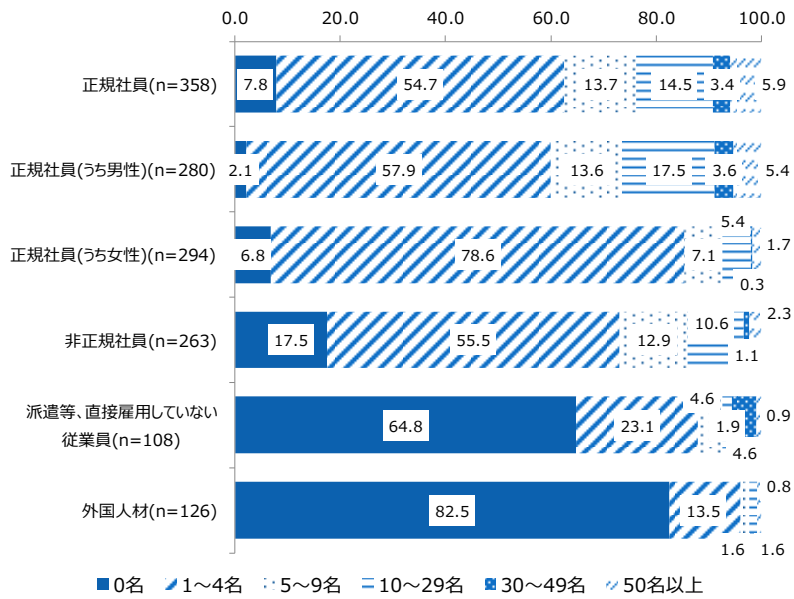
従業員の平均年齢は「40～49歳」が33.6%で最も多く、「50～59歳」が27.0%となっている。代表者と比べれば平均年齢は若いものの、全体の4分の1で従業員の平均年齢が60歳以上となっており、従業員の高齢化も進んでいるとみられる。

F7-1 従業員の有無(n=509)



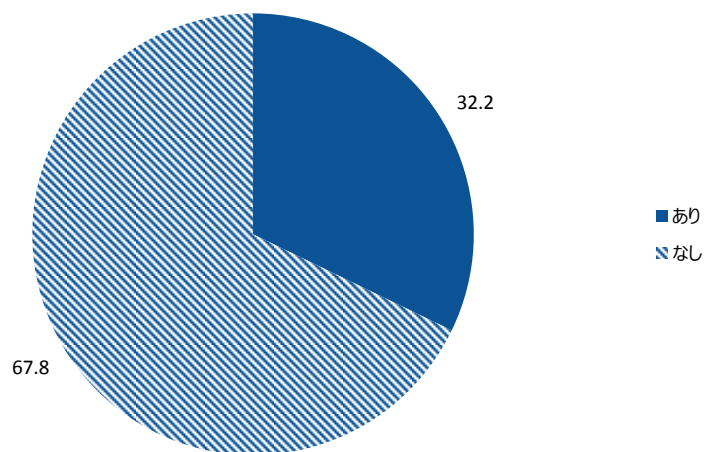
F7-2 従業員数:正規社員(n=358)

(%)



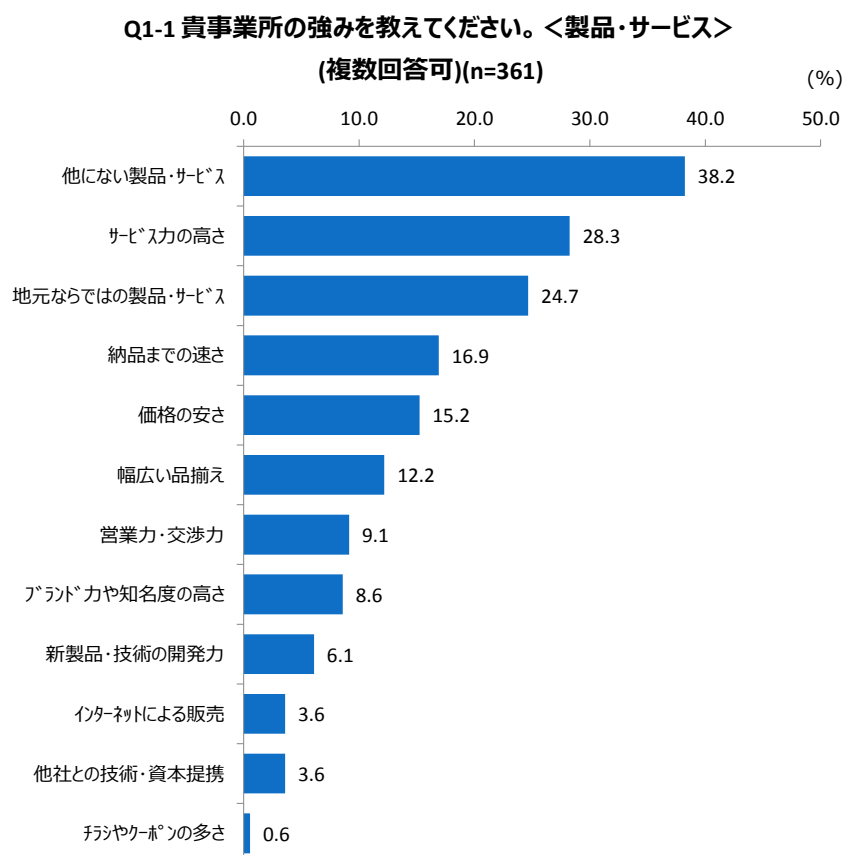
従業員の有無については、「従業員あり」が77.4%、「従業員なし」が28.7%となった。雇用形態や性別ごとにみると、「正規社員」の人数は「1~4名」が最も多い。「正規社員(うち男性)」を5名以上雇用している事業者は40.1%、「正規社員(うち女性)」を5名以上雇用している事業者は14.5%となっている。また、「派遣等、直接雇用していない従業員」を雇用している事業者は4割弱、外国人材を雇用している事業者は2割弱となっている。

F8 自社ホームページの有無(n=314)



「自社ホームページ」については「あり」が 32.2%、「なし」が 67.8%となっている。

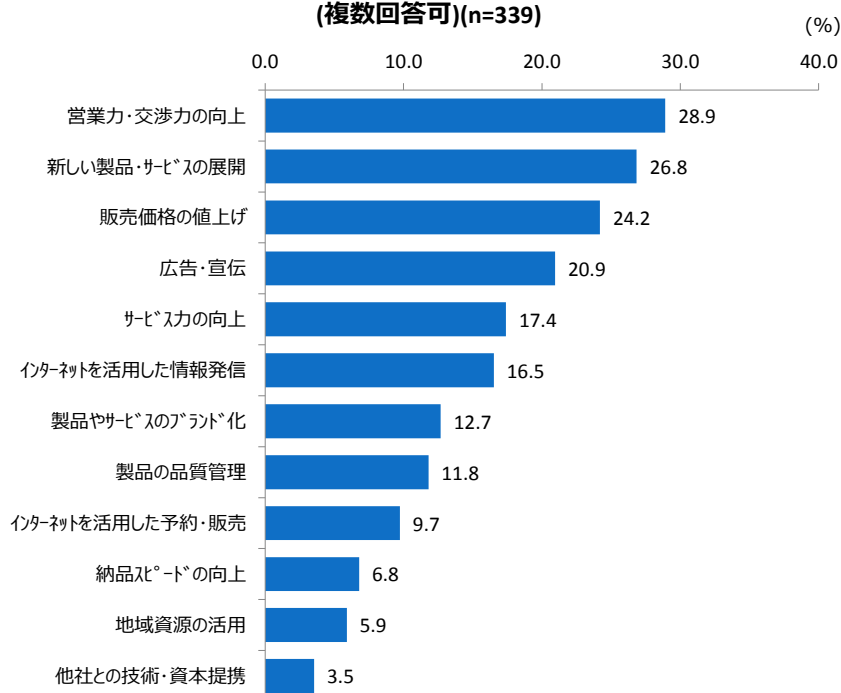
(2) 事業の強みや課題について



事業所の強み（製品・サービス）については、「他にない製品・サービス」が38.2%で最も多く、「サービス力の高さ」が28.3%、「地元ならではの製品・サービス」が24.7%で続いている。「価格の安さ」は15.2%にとどまっており、各事業者が価格のみの競争に陥らないよう、独自の製品やサービスを揃え、サービス力を向上させること等によって魅力を高めようとしている様子が窺える。

Q2-1 貴事業所の課題を教えてください。<製品・サービス>

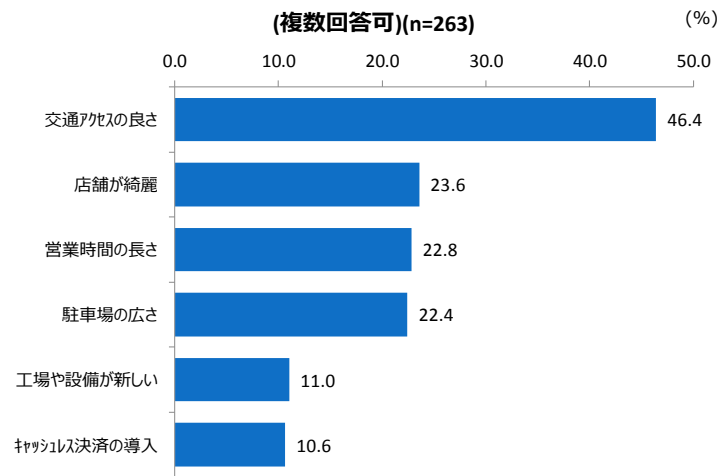
(複数回答可)(n=339)



事業所の課題（製品・サービス）については、「営業力・交渉力の向上」が28.9%で最も高く、「新しい製品・サービスの展開」が26.2%、「販売価格の値上げ」が24.2%と続いている。現在の強みである独自の製品・サービスの力を一層向上させるとともに、それらを販売価格に適切に反映できるよう交渉していきたいと考えている事業者が多いとみられる。

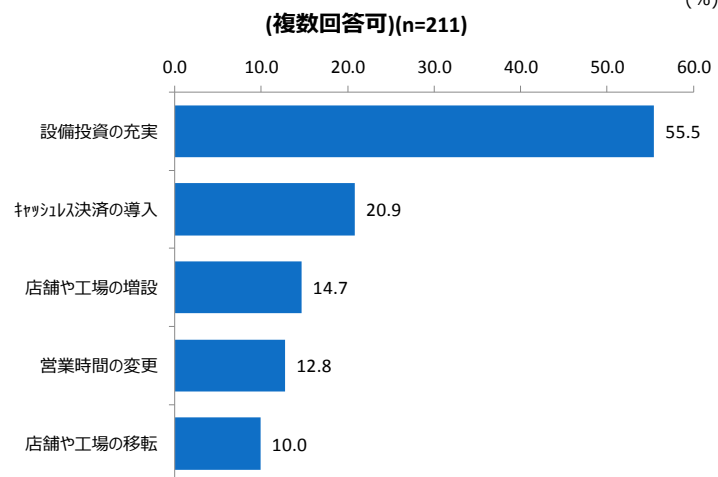
一方、「地域資源の活用」や「他社との技術・資本提携」は低位にとどまっており、社外との連携に関する課題感はあまり高くないと言える。

Q1-2 貴事業所の強みを教えてください。〈店舗や設備〉



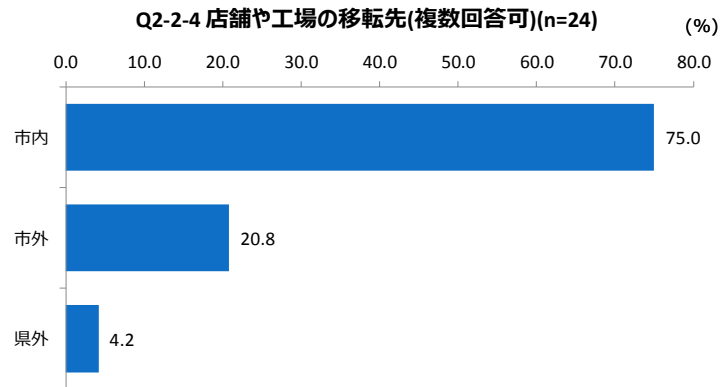
事業所の強み（店舗や設備）については、「交通アクセスの良さ」が 46.4%で最も多く、半数の事業者が強みと認識している。「店舗が綺麗」、「営業時間の長さ」、「駐車場の広さ」はともに 2 割強となっている。「キャッシュレス決済の導入」は 10.6%となっており、2019 年 10 月の消費増税に伴うキャッシュレス・消費者還元事業¹に参加するため、キャッシュレス決済を導入した事業者も多いとみられる。

Q2-2 貴事業所の課題を教えてください。〈店舗や設備〉

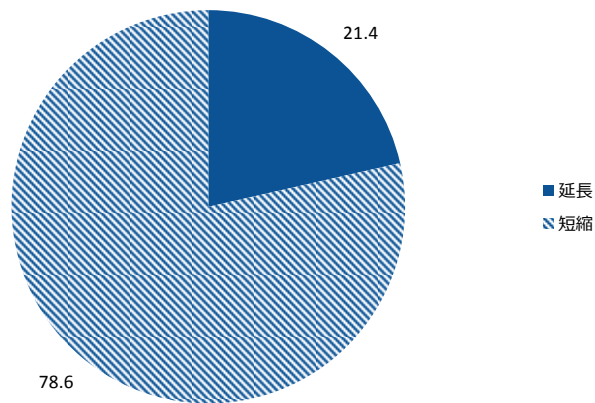


事業所の課題（店舗や設備）については「設備施設の充実」が 55.5%と最も高く、「キャッシュレス決済の導入」が 20.9%と続いている。既にキャッシュレス決済を導入した（強みとして挙げている）事業者が 1 割、これから導入したいと考える事業者が 2 割となっており、逆にみれば残り 7 割の事業者はキャッシュレス決済への関心が低いとも考えられる。

¹ 経済産業省によれば、島田市内のポイント還元事業加盟店は 2019 年 10 月 10 時点で 334 店舗。
(<https://cashless.go.jp/>)



Q2-2-5 営業時間の変更内容(単一回答)(n=42)

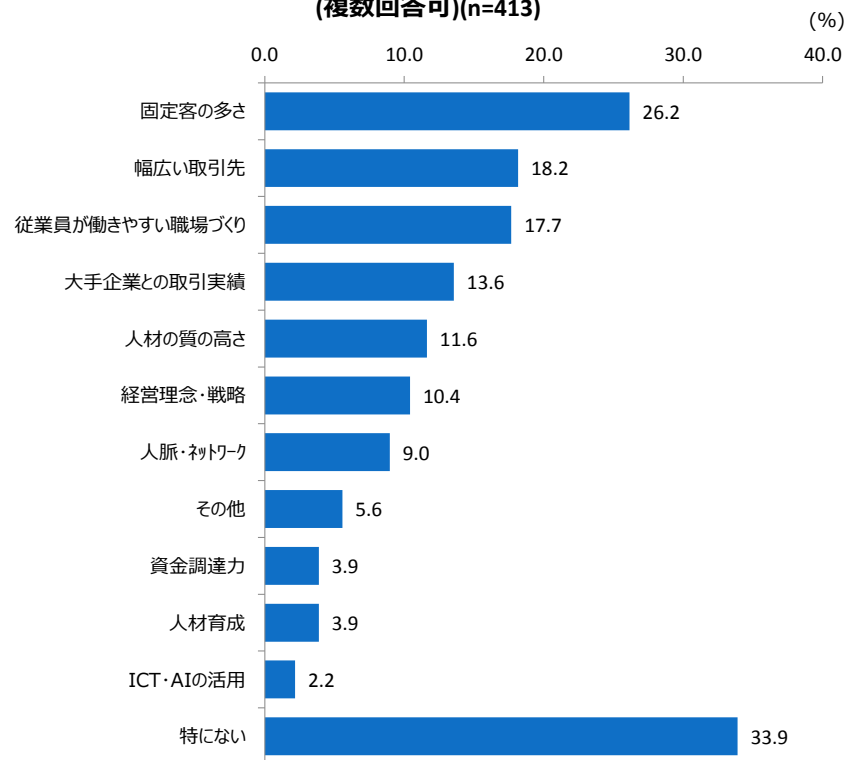


課題として「店舗や工場の移転」を挙げた先に対して移転先を訊ねたところ、「市内」が75.0%で最も多く、大半は市内移転を検討しているとみられる。「県外」との回答は1件(4.2%)であった。

また同様に「営業時間の変更」を挙げた先に対してその内容を尋ねたところ、「短縮」が78.6%となった。営業時間を短縮する背景としては、職場環境の改善によって人材の定着を図ろうとしている、人手不足や従業員の高齢化によって稼働時間を短縮せざるをえない、といった事情が考えられる。

Q1-3 貴事業所の強みを教えてください。〈その他〉

(複数回答可)(n=413)

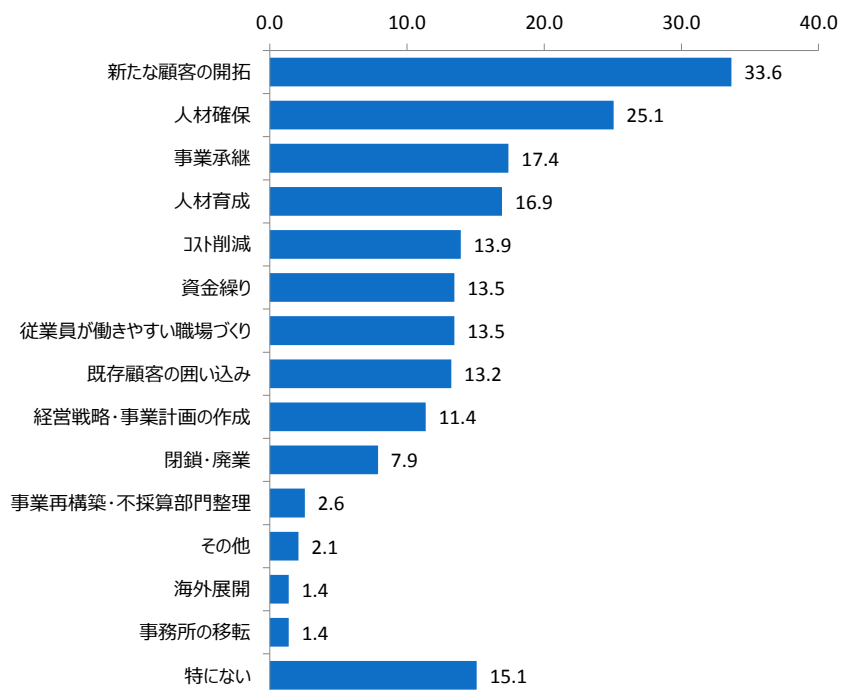


事業所の強み(その他)については、「固定客の多さ」が 26.2%、「幅広い取引先」が 18.2%、「従業員が働きやすい職場づくり」が 17.7%となった。

Q2-3 貴事業所の課題を教えてください。〈その他〉

(複数回答可)(n=431)

(%)

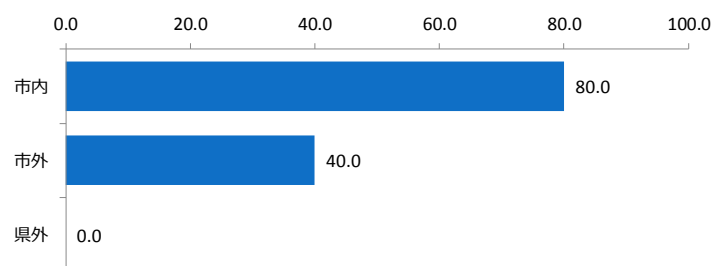


事業所の課題（その他）については、「新たな顧客の開拓」が 33.6%で最も多くなっており、固定客の多さが強みである一方、新規開拓の必要性も感じている様子が窺える。

また、「人材確保」も 25.1%と 2 番目に多く、「事業承継」、「人材育成」が続くなど、人材に関する課題感も目立った。

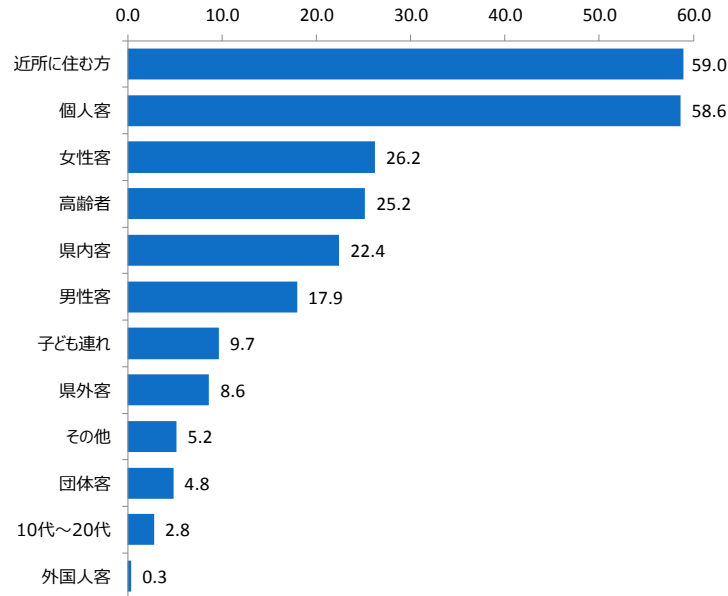
Q2-3-13 事務所の移転先(複数回答可)(n=5)

(%)



事業所の課題として「事務所の移転」を挙げた先に対し移転先を訊ねたところ、「市内」が 80.0%となった。県外への移転を考えているとの回答は無かった。

Q3 一般消費者向けの製造・販売・サービス等を主として行っている方に伺います。主な顧客層を教えてください。(%)
(複数回答可)(n=290)

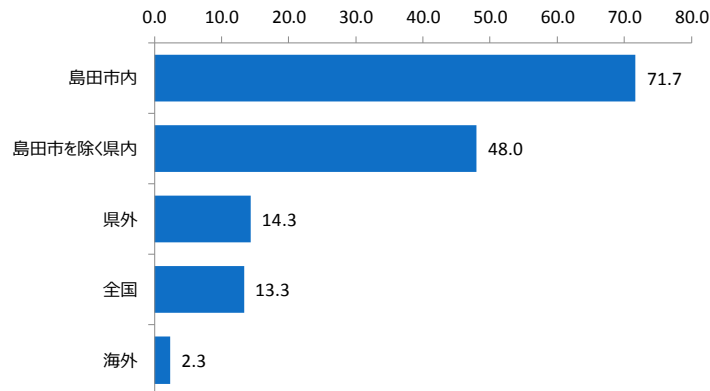


一般消費者向けの製造・販売・サービスを主として行っている事業者に対し、主な顧客層を訊ねたところ、「近所に住む方」が59.0%、「個人客」が58.6%でほぼ同程度となり、「県内客」は22.4%、「県外客」は8.6%にとどまっている。強み(Q1-3)として「固定客の多さ」を上げた事業者が多かったことから、近隣住民との関係性が強いことが窺える。

		Q3 一般消費者向けの製造・販売・サービス等:主な顧客層												
		合計	近所に住む方	個人客	高齢者	女性客	県内客	男性客	子ども連れ	県外客	団体客	10代~20代	外国人客	その他
全体	n	290	171	170	73	76	65	52	28	25	14	8	1	15
	%	100.0	59.0	58.6	25.2	26.2	22.4	17.9	9.7	8.6	4.8	2.8	0.3	5.2
建設	n	29	20	22	4	0	3	0	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	69.0	75.9	13.8	0.0	10.3	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
製造	n	20	8	11	1	2	7	1	0	6	1	0	0	3
	%	100.0	40.0	55.0	5.0	10.0	35.0	5.0	0.0	30.0	5.0	0.0	0.0	15.0
卸売	n	5	1	1	1	0	4	1	0	1	1	0	0	1
	%	100.0	20.0	20.0	20.0	0.0	80.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
小売	n	88	57	46	39	27	18	13	5	8	2	0	0	4
	%	100.0	64.8	52.3	44.3	30.7	20.5	14.8	5.7	9.1	2.3	0.0	0.0	4.5
不動産	n	5	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	%	100.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
宿泊	n	2	1	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0
	%	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食	n	34	13	21	7	10	7	12	6	2	2	0	0	2
	%	100.0	38.2	61.8	20.6	29.4	20.6	35.3	17.6	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9
運輸	n	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	%	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
その他サービス(個人向け)	n	58	41	40	17	28	10	19	11	3	3	6	0	0
	%	100.0	70.7	69.0	29.3	48.3	17.2	32.8	19.0	5.2	5.2	10.3	0.0	0.0
その他サービス(企業向け)	n	4	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
	%	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他	n	24	14	13	1	3	6	1	0	2	1	0	0	2
	%	100.0	58.3	54.2	4.2	12.5	25.0	4.2	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	8.3

業種別にみると、「近所に住む方」、「個人客」はいずれも多く業種で高くなっており、特に建設、その他サービス(個人向け)ではそれぞれ約7割となっている。

**Q4-1 企業向けの製造・販売・サービス等を主として行っている
方に伺います。主な販売先の所在地を教えてください。** (%)
(複数回答可)(n=300)



企業向けの製造・販売・サービスを主として行っている事業者に対し、主な顧客層を訊ねたところ、「島田市内」が71.7%で最も多く、「島田市を除く県内」が48.0%で続いている。「県外」は14.3%、「全国」は13.3%にとどまっており、市内や近隣市町村との取引が多いとみられる。また、「海外」は2.3%となっている。

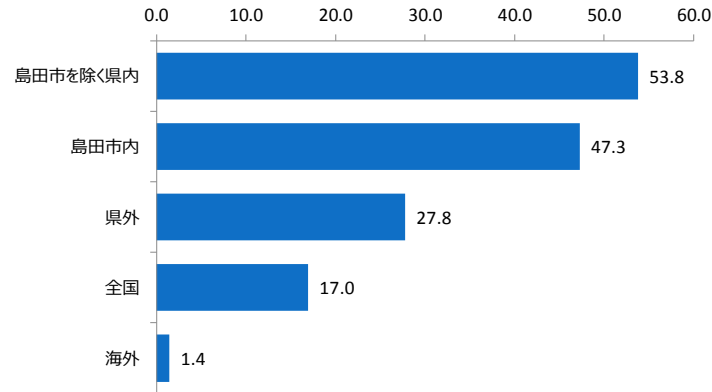
		合計	Q4-1 企業向けの製造・販売・サービス等:主な得意先・販売先				
			島田市内	島田市を除く県内	県外	全国	海外
全体	n	300	215	144	43	40	7
	%	100.0	71.7	48.0	14.3	13.3	2.3
建設	n	51	41	28	7	4	0
	%	100.0	80.4	54.9	13.7	7.8	0.0
製造	n	77	36	38	22	23	6
	%	100.0	46.8	49.4	28.6	29.9	7.8
卸売	n	16	12	6	3	2	0
	%	100.0	75.0	37.5	18.8	12.5	0.0
小売	n	45	36	17	3	4	0
	%	100.0	80.0	37.8	6.7	8.9	0.0
不動産	n	1	1	0	0	0	0
	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食	n	18	18	3	1	0	0
	%	100.0	100.0	16.7	5.6	0.0	0.0
運輸	n	9	5	4	2	3	1
	%	100.0	55.6	44.4	22.2	33.3	11.1
その他サービス (個人向け)	n	19	17	8	0	0	0
	%	100.0	89.5	42.1	0.0	0.0	0.0
その他サービス (企業向け)	n	22	16	16	3	2	0
	%	100.0	72.7	72.7	13.6	9.1	0.0
その他	n	24	16	14	1	2	0
	%	100.0	66.7	58.3	4.2	8.3	0.0

※30%以上のセルを色付け ※宿泊業、情報通信業は回答がないため非掲載

業種別にみると、いずれの業種も「島田市内」が高くなっている。特に、建設、その他サービス（個人向け）²は8割以上が「島田市内」と回答している。

² その他サービス（個人向け）でQ4-1を回答した先の事業内容は、写真館、託児サービス、理美容などがあり、一部で企業向けサービスも行っているとみられる。

Q4-2 企業向けの製造・販売・サービス等を主として行っている
方に伺います。主な仕入先の所在地を教えてください。(%)
(複数回答可)(n=277)



企業向けの製造・販売・サービスを主として行っている事業者の主な仕入先については、「島田市を除く県内」が53.8%で最も多く、「島田市内」が47.3%が続いている。

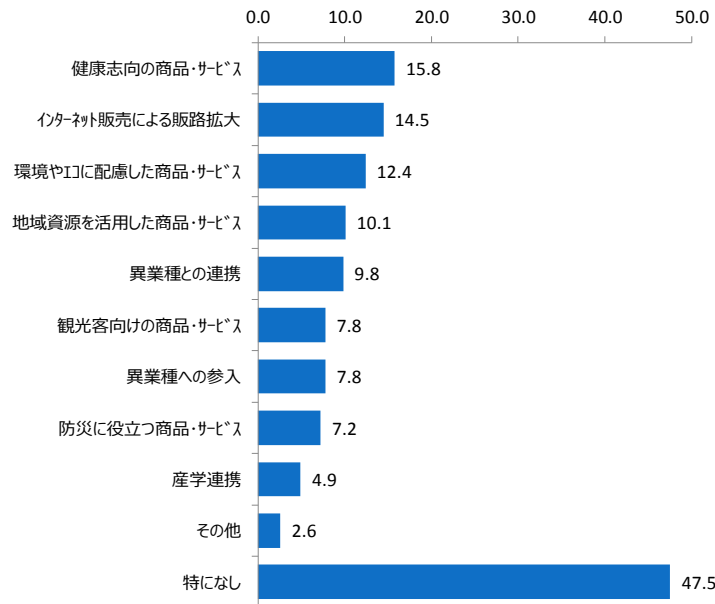
		合計	Q4-2 企業向けの製造・販売・サービス等:主な仕入先				
			島田市内	島田市を除く県内	県外	全国	海外
全体	n	277	131	149	77	47	4
	%	100.0	47.3	53.8	27.8	17.0	1.4
建設	n	51	34	31	8	3	0
	%	100.0	66.7	60.8	15.7	5.9	0.0
製造	n	73	32	40	22	14	2
	%	100.0	43.8	54.8	30.1	19.2	2.7
卸売	n	16	2	5	6	7	1
	%	100.0	12.5	31.3	37.5	43.8	6.3
小売	n	45	15	21	21	5	1
	%	100.0	33.3	46.7	46.7	11.1	2.2
不動産	n	1	1	0	0	0	0
	%	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食	n	21	16	12	2	1	0
	%	100.0	76.2	57.1	9.5	4.8	0.0
運輸	n	7	4	5	1	1	0
	%	100.0	57.1	71.4	14.3	14.3	0.0
その他サービス (個人向け)	n	17	5	11	4	4	0
	%	100.0	29.4	64.7	23.5	23.5	0.0
その他サービス (企業向け)	n	15	8	6	4	5	0
	%	100.0	53.3	40.0	26.7	33.3	0.0
その他	n	15	6	8	6	4	0
	%	100.0	40.0	53.3	40.0	26.7	0.0

※30%以上のセルを色付け ※宿泊業、情報通信業は回答がないため非掲載

業種別にみると、建設、不動産、飲食、その他サービス（企業向け）は「島田市内」が最も多く、製造、小売、運輸、その他サービス（個人向け）、その他は「島田市を除く県内」が最も多くなっている。卸売は「全国」が最も多くなっている。

島田市を一つの経済圏域として考えると、仕入先は域外（県内の他市町村）が比較的多く、販売先は域内（近隣住民や市内企業）が多いため、域外からモノ・サービスが流入し、域内のカネ（支払い）は域外に流出する傾向があると言える。

Q5 今後、新事業展開するとして、興味のある分野を教えてください。(複数回答可)(n=387) (%)



今後、新事業展開するとして興味のある分野については、「特になし」を除けば「健康志向の商品・サービス」が15.8%で最も多くなっている。一般消費者向けの製造・販売・サービスを主として行っている事業者の主な顧客層(Q3)は、「女性」や「高齢者」も比較的多くなっており、健康志向の商品・サービスへの関心の高さにつながっているとみられる。

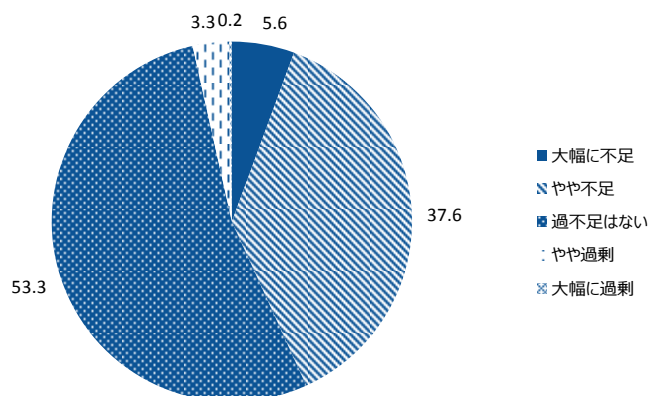
また、「インターネット販売による販路拡大」も14.5%となっている。事業所の課題(Q2-3)として「新たな顧客の開拓」が最も多かったことから、販路開拓への関心は高く、一つの方法としてインターネット販売に着目した回答があったとみられる。

ただし市内の現状として、一般消費者向けでは近隣住民、企業向けでは市内及び県内企業との取引が多いこと(対面や訪問での販売・サービス提供が多いと考えられること)や、自社ホームページを持つ企業が全体の3割程度にとどまっていることを鑑みると、事業者のインターネット活用はそれほど進んでいない可能性が高い。各事業者が独自にインターネット販売に取り組むには、課題も多いと考えられ。

(3) 雇用について

Q6 貴事業所の人員確保の状況について教えてください。

(単一回答)(n=428)



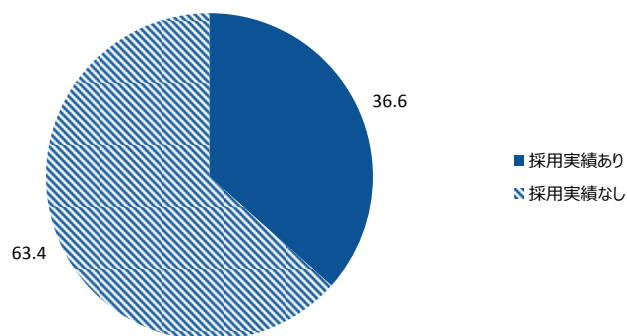
人員確保の状況については、「過不足はない」が 53.3%と半数を占めるものの、「やや不足」が 37.6%、「大幅に不足」が 5.6%と続き、4 割強で人手不足となっている。

		合計	Q6 事業所の人員確保の状況				
			大幅に不足	やや不足	過不足はない	やや過剰	大幅に過剰
全体		428 100.0	24 5.6	161 37.6	228 53.3	14 3.3	1 0.2
F6 従業員の 平均年齢	30歳未満	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	30～39歳	55 100.0	3 5.5	22 40.0	29 52.7	1 1.8	0 0.0
	40～49歳	125 100.0	8 6.4	63 50.4	44 35.2	10 8.0	0 0.0
	50～59歳	94 100.0	5 5.3	39 41.5	47 50.0	2 2.1	1 1.1
	60～69歳	59 100.0	2 3.4	13 22.0	43 72.9	1 1.7	0 0.0
	70歳以上	14 100.0	1 7.1	2 14.3	11 78.6	0 0.0	0 0.0

※50%以上のセルを色付け

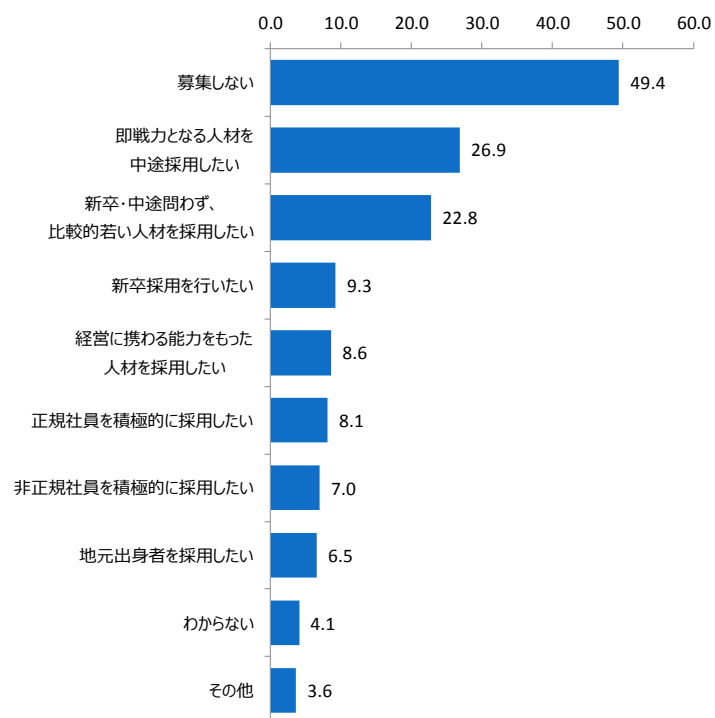
従業員の平均年齢別にみると、30才未満及び40～49歳では「やや不足」が最も多く、他の属性では「過不足はない」が最も多くなっている。

Q7 貴事業所の直近3年間の新規雇用者（正規社員・非正規社員問わず）の採用実績の有無を教えてください。
(単一回答)(n=448)



直近3年間の新規雇用者の採用実績については、「採用実績あり」が36.6%となっている。

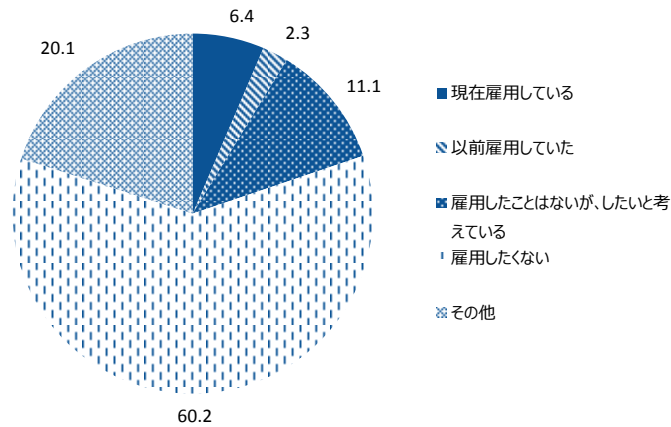
Q8 貴事業所の新規採用（正規・非正規問わず）の募集意向を教えてください。(複数回答可)(n=443) (%)



新規雇用の募集意向については、「募集しない」が49.4%で約半数を占めている。次いで「即戦力となる人材を中途採用したい」が26.9%、「新卒・中途問わず、比較的若い人材を採用したい」が22.8%が続いている。

Q9 外国人材の雇用状況について教えてください。

(単一回答)(n=389)



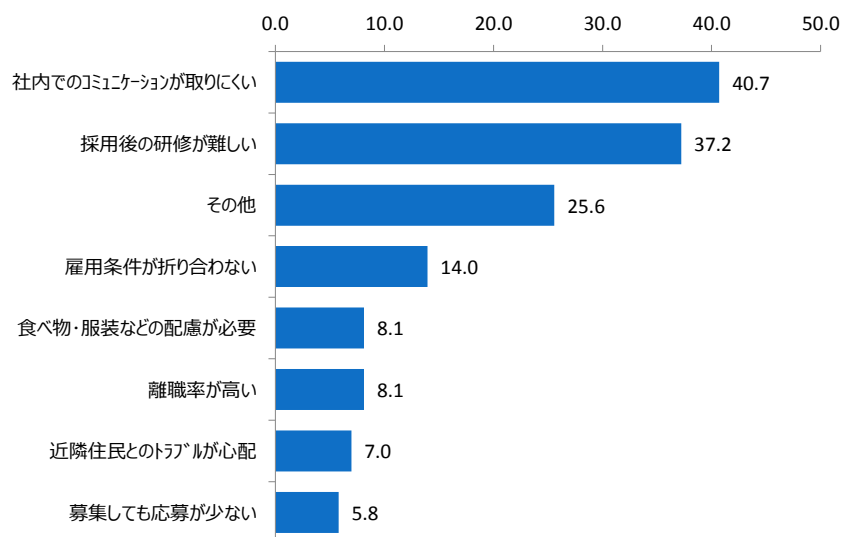
外国人材の雇用状況については「雇用したくない」が 60.2%で最も多い。次いで「その他」が 20.2%、「雇用したことはないが、したいと考えている」が 11.1%と続いている。

「その他」の具体的内容（自由記述）としては「必要がないから」、「今のところ考えていないから」等の理由が挙げられている。

Q10 Q9で、「現在雇用している」「以前雇用していた」「雇用したことはないが、したいと考えている」と回答した方に伺います。
外国人材の雇用に関する課題について教えてください。

(複数回答可)(n=86)

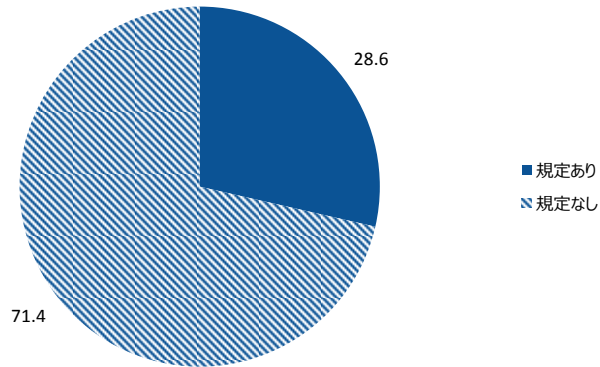
(%)



外国人材を雇用した経験がある、または雇用したいと考えている事業者に対し、その課題について訊ねたところ、「社内でのコミュニケーションが取りにくい」が 40.7%で最も多く、「採用後の研修が難しい」が 37.2%で続いている。

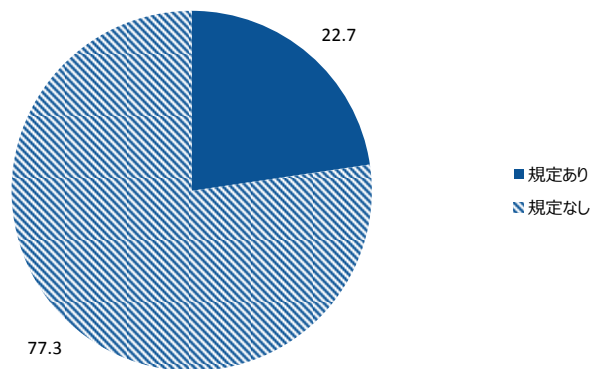
Q11-1 育児休暇の規定の有無を教えてください。

(単一回答)(n=406)



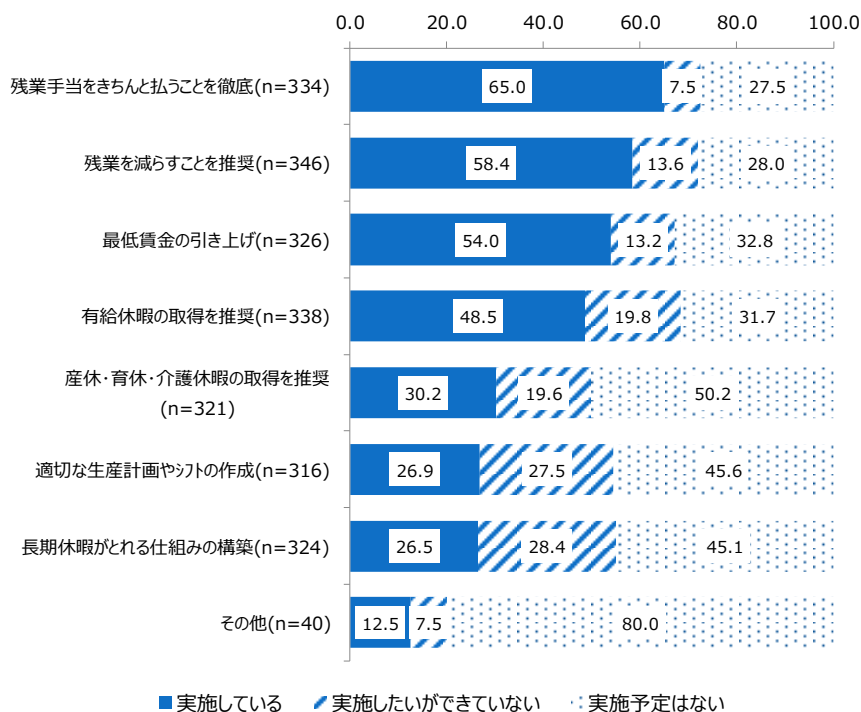
Q11-2 介護休暇の規定の有無を教えてください。

(単一回答)(n=406)



育児休暇・介護休暇の規定の有無については、育児休暇は「規定あり」が 28.6%、介護休暇は「規定あり」が 22.7%となっており、育児休暇の方が、介護休暇に比べ規定を設けている割合がやや高くなっている。

Q12 貴事業所の働き方改革の取り組みについて教えてください。(それぞれ単一回答) (%)



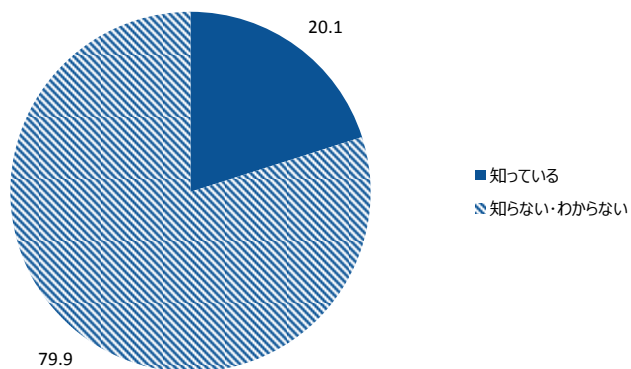
働き方改革の取り組みのうち「実施している」割合が最も高いのは、「残業手当をきちんと払うことを徹底」で 65.0%、次いで「残業を減らすことを推奨」が 58.4%、「最低賃金の引き上げ」が 54.0%となっている。

一方、「実施したいができていない」割合が最も高いのは、「長期休暇が取れる仕組みの構築」で 28.4%、「適切な生産計画やシフトの作成」が 27.5%となっている。事業者によっては、人手不足のため人繰りの余裕が無く、このような仕組みづくりが更に難しくなっている可能性も考えられる。

また、「実施しない」割合が最も高いのは、「その他」を除けば「産休・育休・介護休暇の取得を推奨」で、50.2%が「実施しない」と回答している。従業員数に関する設問 (F7-2) では、正社員 (女性) を 5 人以上雇用している事業所は全体の 14.5%にとどまっており、産休・育休等のニーズが表面化する機会が少ないことが、事業者の消極的な姿勢に繋がっているとみられる。

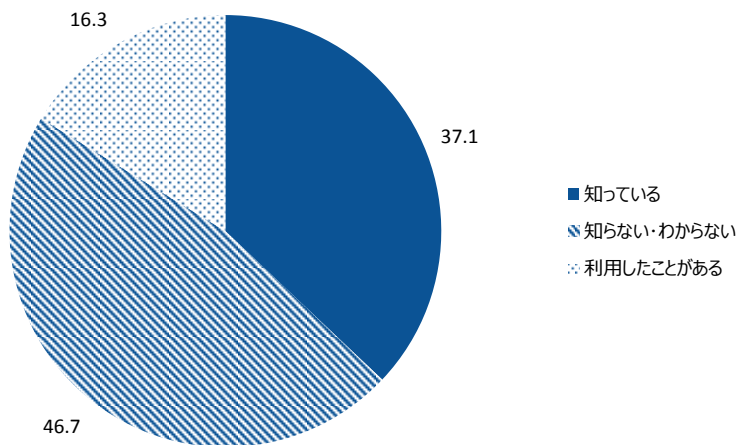
(4) 市の中小企業支援施策について

Q13 島田市中小企業・小規模企業振興基本条例をご存じですか。(単一回答)(n=518)



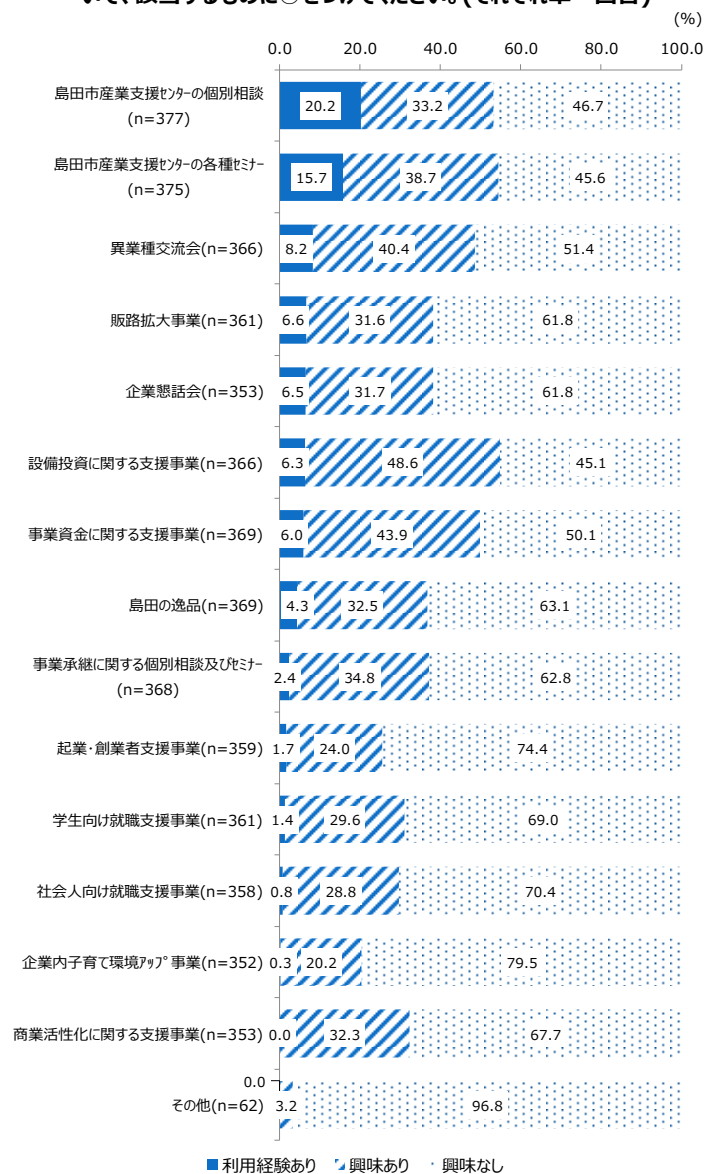
「島田市中小企業・小規模企業振興基本条例」を「知っている」は 20.1%となっている。

Q14 島田市産業支援センター（おびサポ）をご存じですか。(単一回答)(n=510)



「島田市産業支援センター」は、「知らない・わからない」が 46.7%で最も多いものの、「知っている」は 37.1%、「利用したことがある」は 16.3%となっている。

Q15 市などがおこなっている以下の中小企業支援施策について、該当するものに○をつけてください。(それぞれ単一回答)



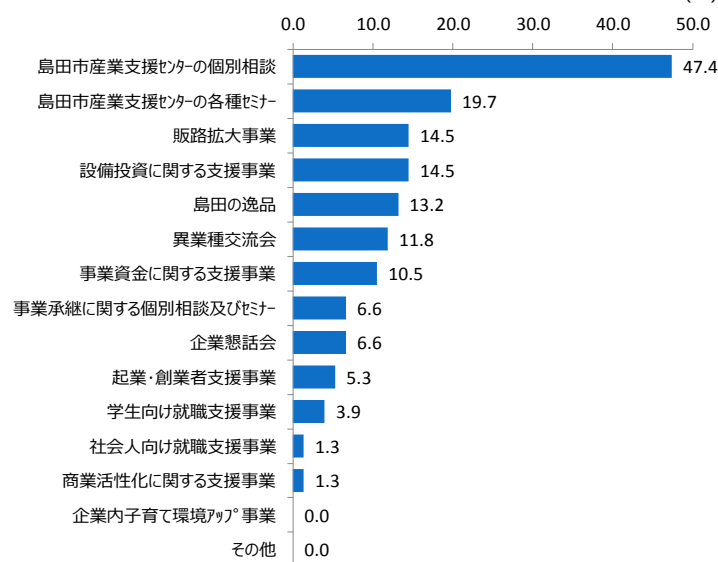
市などがおこなっている中小企業支援施策のうち「利用経験あり」の割合が最も高いのは「島田市産業支援センターの個別相談」で20.2%となっており³、次いで「島田市産業支援センターの各種セミナー」が15.7%、「異業種交流会」が8.2%と続いている。

「興味あり」の割合が高いものをみると「設備投資に関する支援事業」が48.6%、「事業資金に関する支援事業」が43.9%となっており、補助金など資金面の支援に対する関心が高い。

³ Q14 (n=510) とは回答者数が異なるため、利用割合も異なっている。

Q16 市などがおこなっている上記の施策について、実際に利用

した施策があれば教えてください。(最大3つまで)(n=76)

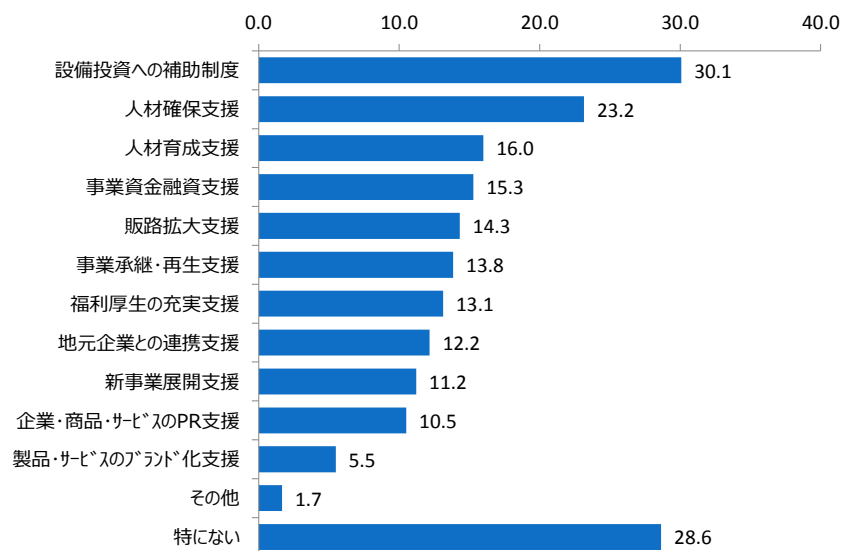


市などがおこなっている中小企業振興施策のうち実際に利用した施策については、「島田市産業支援センターの個別相談」が 47.4%で最も多く、「島田市産業支援センターの各種セミナー」が 19.7%、「販路拡大事業」及び「設備投資に関する支援事業」がともに 14.5%で続いている。

回答数が多かった「島田市産業支援センターの個別相談」についての意見・感想をみると、「専門家のアドバイスを受けることができた」、「新規事業の相談ができた」等の好意的な意見が多い。一方、一部の事業者から「期待した内容ではなかった」、「アドバイスの内容を理解することが難しかった」との意見もみられた。

好意的な内容（自由回答を基に分類）	
専門家のアドバイスを受けることができた	7
新規事業の相談ができた	6
補助金に関する相談ができた	3
そのほか好意的な意見・感想	4
否定的な内容（自由回答を基に分類）	
期待した内容ではなかった	2
アドバイスの内容を理解することが難しかった	1

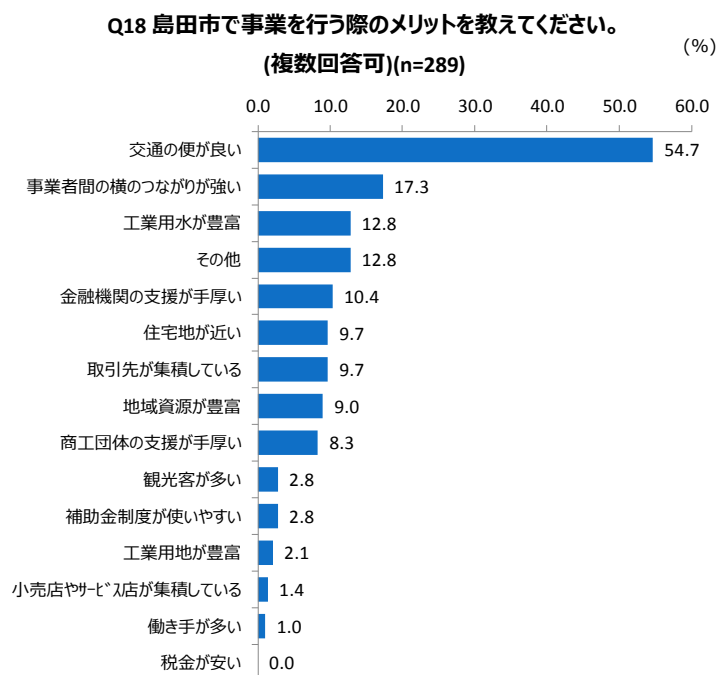
Q17 市に今後期待する中小企業・小規模企業支援策などについて教えてください。(複数回答可)(n=419) (%)



市に今後期待する中小企業・小規模企業支援策などについては、「設備投資への補助制度」が30.1%で最も多く、「人材確保支援」が23.2%、「人材育成支援」が16.0%、「事業資金融資支援」が15.3%と続いている。

既存の支援施策の利用状況等(Q16)とあわせてみると、資金面の支援への期待が高いほか、人材不足への関心も強い。ただし現状では、各種就職支援事業の利用経験は数%程度にとどまり、ニーズが高い割に施策利用経験が少ない傾向にある。その背景として、施策そのものの認知度が低いことや、施策が使いにくい(例:人手不足で説明会に参加することもままならない)、またはニーズに即していない(例:即戦力となる中途人材を採用したいが、マッチングできない)といった理由も考えられる。今後の施策を一層良いものにしていくため、訪問調査などで事業者のニーズを詳しく把握し、検討していくことが望ましいと思われる。

(5) 島田市の強み・課題について



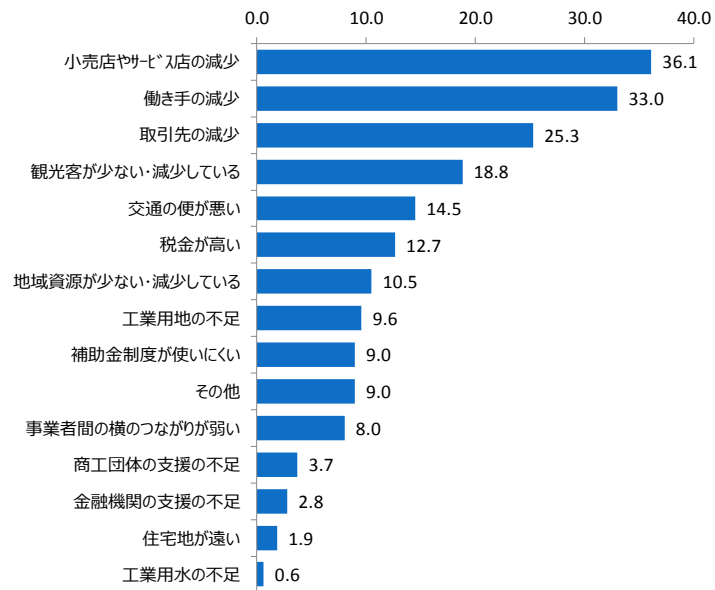
島田市で事業を行う際のメリットについては、「交通の便が良い」が 54.7%で最も多く、店舗や設備に関する強み（Q2-2）と一致している。

また、「事業者間の横のつながりが強い」も 17.3%となっている。

Q19 島田市で事業を行う際のデメリットを教えてください。

(複数回答可)(n=324)

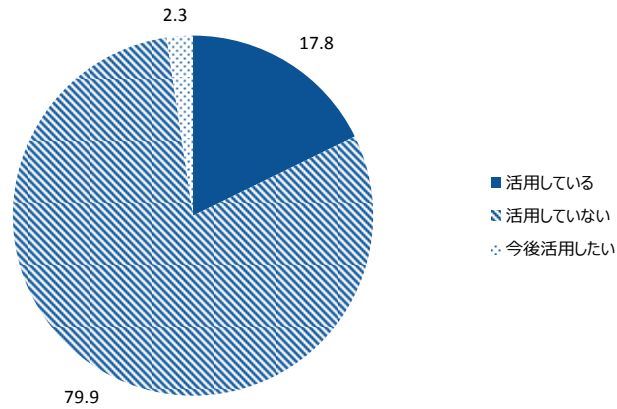
(%)



島田市で事業を行う際のデメリットについては、「小売店やサービス店の減少」が 36.1%で最も多く、次いで「働き手の減少」が 33.0%、「取引先の減少」が 25.3%、「観光客が少ない・減少している」が 18.8%と続いている。

これまで、個人向けでは近隣住民、企業向けでは市内・県内の比較的近い企業との取引を中心に展開してきたとみられる市内事業者にとって、人口減少や商業機能の拡散・減少により、経営環境は一層厳しさを増しているものと考えられる。

Q20 事業で活用している島田市の地域資源について
教えてください。(単一回答)(n=383)



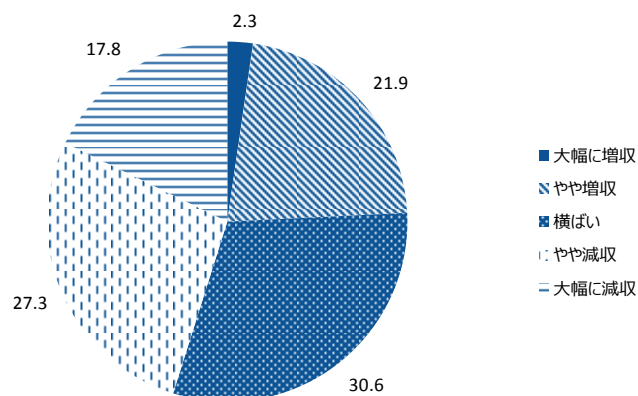
島田市の地域資源の活用状況については、「活用していない」が 79.9%で最も多く、「活用している」が 17.9%、「今後活用したい」が 2.3%となっている。

活用している地域資源の具体的な内容は、「茶」が 27 件で最も多く、「木材」が 17 件、「温泉（川根温泉など）」が 8 件と続いている。

活用している地域資源（自由回答を基に分類）	件数
茶	27
木材	17
温泉（川根温泉など）	8
祭り（帯まつり、齧まつり）	7
バラ	5
SL	3
大井川（水資源、蓬莱橋など）	4
その他	7

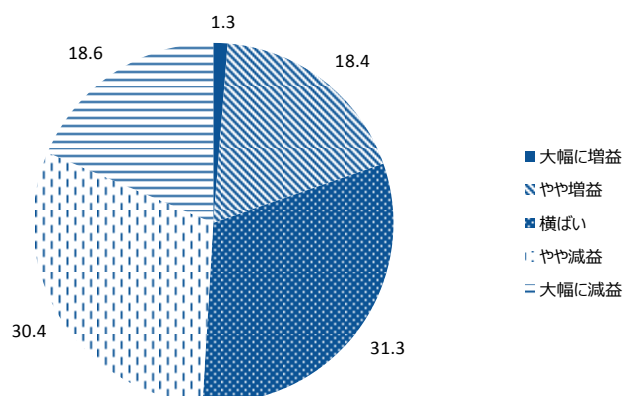
(6) 経営動向について

Q22-1 貴事業所の直近3年間の売上高の推移について
教えてください。(単一回答)(n=483)



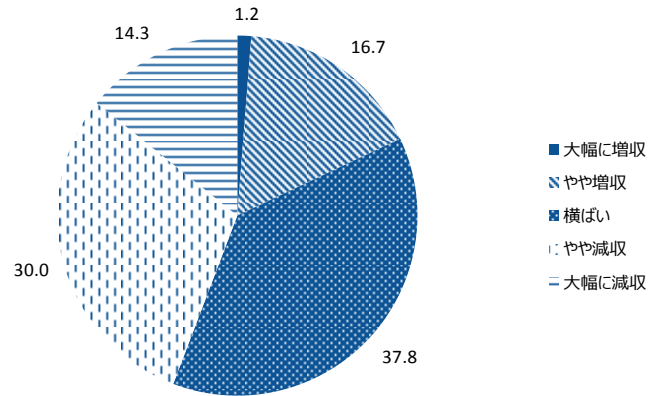
直近3年間の売上高の推移については、「横ばい」が30.6%、「やや減収」が27.3%、「やや増収」が21.9%と続いている。増収（「大幅に増収」+「やや増収」）が24.2%であるのに対し、減収（「大幅に減収」+「やや減収」）は45.1%で、減収の割合が高くなっている。

Q22-2 貴事業所の直近3年間の営業利益の推移について
教えてください。(単一回答)(n=473)



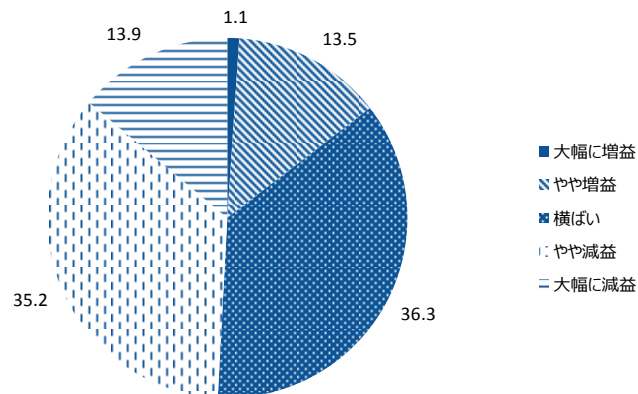
直近3年間の売上高の推移については、「横ばい」が31.3%で最も多く、「やや減益」が30.4%、「やや増益」が18.4%続いている。増収（Q22-1）が24.2%であるのに対し、増益（「大幅に増益」+「やや増益」）は19.7%にとどまっており、仕入価格の上昇や最低賃金の引き上げ等を背景に、増収が必ずしも増益に結び付いていない状況が推察される。

Q23-1 貴事業所のこの先1年間の売上高の見通しについて
教えてください。(単一回答)(n=484)



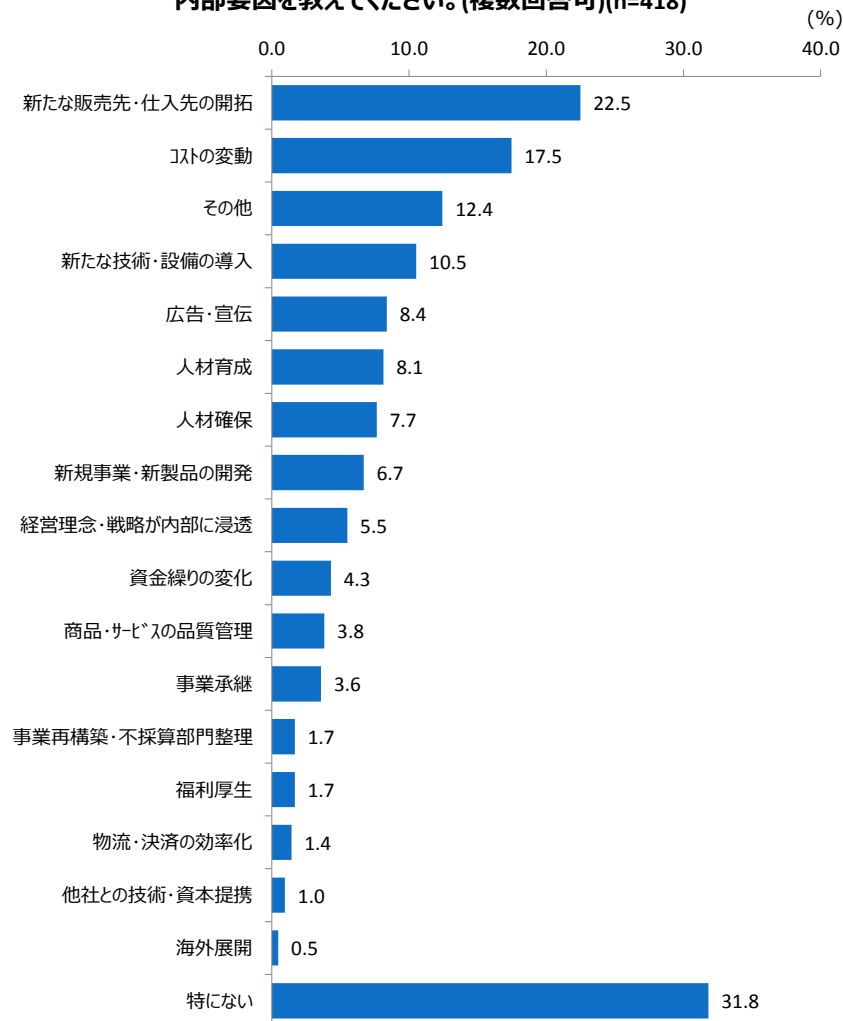
この先1年間の売上高の見通しについては、「横ばい」が37.8%で最も多く、「やや減収」が30.0%、「やや増収」が16.7%と続いている。今後の増収見通し（「大幅に増収」+「やや増収」）は17.9%で、直近3年間の実績（増収24.2%）に比べ低くなっている。また、今後の減収見通し（「大幅に減収」+「やや減収」）は44.3%で、実績（減収45.1%）と同程度となっている。

Q23-2 貴事業所のこの先1年間の営業利益の見通しについて
教えてください。(単一回答)(n=474)



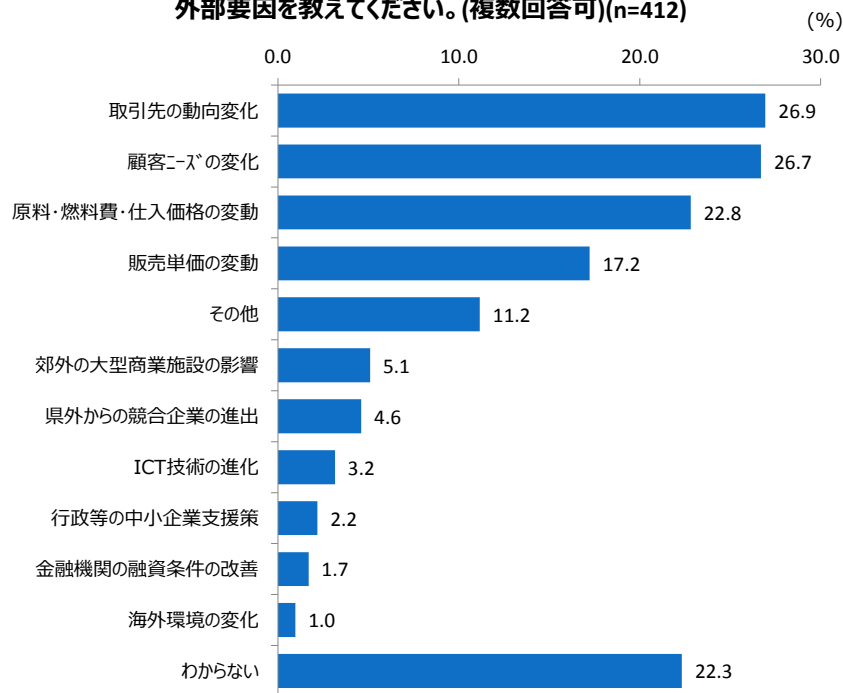
この先1年間の営業利益の見通しについては、「横ばい」が36.3%で最も多く、「やや減益」が35.2%、「大幅に減益」が13.9%と続いている。今後の減益見通し（「大幅に減益」+「やや減益」）は49.1%で、増益見通し（「大幅に増益」+「やや増益」）の14.6%を大きく上回っている。

Q24 直近3年間の売上高・純利益の増減につながった
内部要因を教えてください。(複数回答可)(n=418)



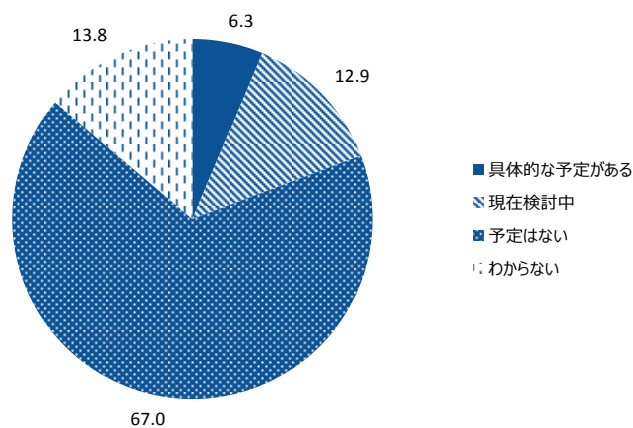
直近3年間の売上高・純利益の増減につながった内部要因については、「特にない」が31.8%で最も多く、「新たな販売先・仕入先の開拓」が22.5%、「コストの変動」が17.5%、「その他」が12.4%で続いている。

Q25 直近3年間の売上高・純利益の増減につながった外部要因を教えてください。(複数回答可)(n=412)



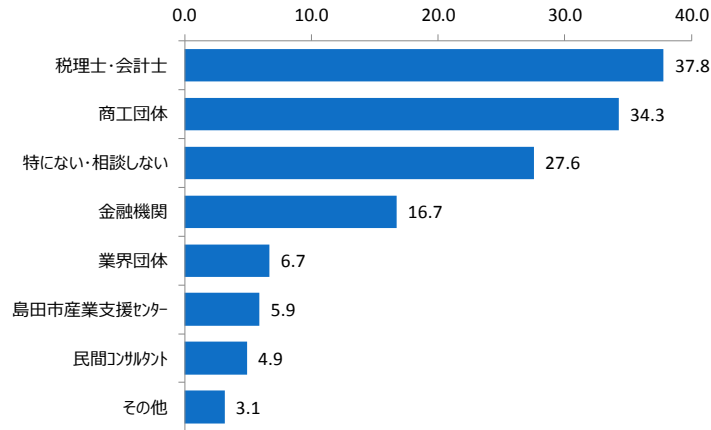
直近3年間の売上高・純利益の増減につながった外部要因については、「取引先の動向変化」が26.9%、「顧客ニーズの変化」が26.7%と同程度となっており、次いで「原料・燃料費・仕入価格の変動」が22.8%で続いている。

Q26 今後の設備投資の予定について教えてください。(単一回答)(n=457)



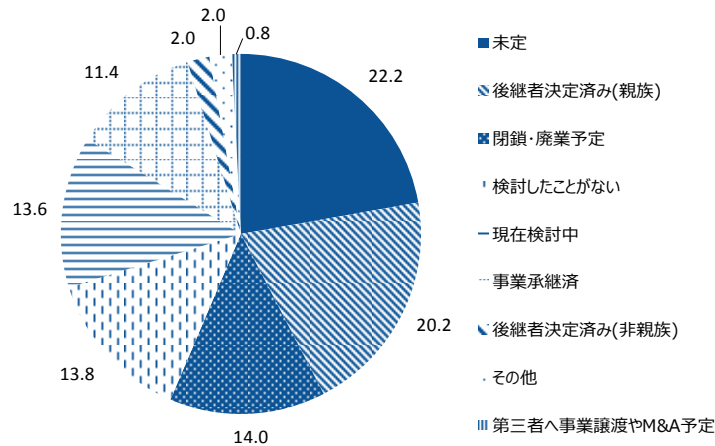
今後の設備投資の予定については、「予定はない」が67.0%で最も多く、「わからない」が13.8%、「現在検討中」が12.9%となっている。

Q27 経営課題に関する日頃の相談先について
教えてください。(複数回答可)(n=508) (%)



経営課題に関する日頃の相談先については、「税理士・会計士」が37.8%で最も多く、「商工団体」が34.3%と続いている。また、「島田市産業支援センター」は5.9%となっており、一定数の事業者から、日頃の相談先として評価されている。一方、「特になし・相談しない」は27.6%と3割近くに上っており、こうした先への支援をどのように行っていくかは今後の検討課題といえる。

Q28 後継者と事業承継の状況について教えてください。
(単一回答)(n=500)



後継者と事業承継の状況については、後継者決定済（「親族」＋「非親族」＋「第三者への譲渡やM&A予定」の合計）は34.4%となっている一方、「未定」が22.2%、「検討したことがない」が13.6%となっている。市内事業所の代表者年齢（F5）では、全体の約6割が60歳以上となっており、事業承継に関する支援は急務と思われる。

3. 訪問調査

(1) 調査内容 (案)

- 人手不足の状況、求める支援施策（施策が利用しにくいということはないか？）
- 販路拡大に関する課題（現在の取組み&どのような支援ができそうか？）
- 事業承継の状況（代表者高齢かつ後継者未定先。支援ニーズの把握）
- おびサポの利用（もしくは日頃の相談先について）

3. 資料

(1) 郵送アンケート調査票

島田市 中小企業・小規模企業経営実態調査



平素大変お世話になっております。島田市では、中小企業・小規模企業の振興を図り、本市の持続的な発展を目指すため、平成 30 年に「[島田市中小企業・小規模企業振興基本条例](#)」を制定いたしました。

はじめに そこで今般、中小企業・小規模企業者の皆さまに、現在の業況や課題、市の施策へのご意見などをお聞きし、今後の施策に役立てるため、実態調査を実施いたします。回答結果は、今後の中小企業・小規模企業支援施策の検討・推進の参考とさせていただきます。ご多忙の折恐れ入りますが、ぜひご意見をお聞かせ頂けますと幸いです。

【ご回答にあたって】

- ◆本調査で収集したデータは、目的に沿った分析や活用のためだけに使用し、他の目的には一切使用いたしません。
- ◆選択肢番号のある設問は、該当する番号を○（マル）で囲んでください。
- ◆「複数回答可」の設問以外は、1問につき1答（マル1つ）でご記入ください。
- ◆この調査票は、特に指定がない限り2019（令和元）年8月1日を基準としてご記入ください。
- ◆**2019（令和元）年9月20日（金）**までに記入、投函をお願いいたします。

島田市産業観光部商工課

貴事業所の概要について（○は1つずつ）

業種	1. 建設	2. 製造	3. 卸売
	4. 小売	5. 不動産	6. 宿泊
	7. 飲食	8. 運輸	9. 情報通信
	10. その他サービス（個人向け）	11. その他サービス（企業向け）	12. その他
	具体的な事業内容（ ）		
創業・設立	創業	:	年
	設立（法人化した年）	:	年
資本金・出資金	1. 個人事業主	2. 100万円未満	3. 100～1000万円未満
	4. 1000～5000万円未満	5. 5000万円～1億円未満	6. 1億円以上
年間売上高	1. 500万円未満	2. 500～1000万円未満	3. 1000～3000万円未満
	4. 3000～5000万円未満	5. 5000万～1億円未満	6. 1～5億円未満
	7. 5～10億円未満	8. 10～30億円未満	9. 30億円以上
代表者の年齢	1. 30歳未満	2. 30～39歳	3. 40～49歳
	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上
従業員の平均年齢	1. 30歳未満	2. 30～39歳	3. 40～49歳
	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上
従業員数 (わかる範囲で数字を ご記入ください)	正規社員	:	名（うち男性： 名 ／女性： 名 ）
	非正規社員（パート・アルバイトなど）	:	名
	派遣等、直接雇用していない従業員	:	名
	※外国人を雇用している場合（雇用形態問わず）		
	外国人材の数	:	名

※従業員がいない場合は、こちらにチェックしてください ⇒ 従業員なし

事業の強みや課題について

問1. 貴事業所の強みを教えてください。(複数回答可)

<製品・サービス>

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------|
| 1. 他にない製品・サービス | 2. 幅広い品揃え | 3. 地元ならではの製品・サービス |
| 4. 新製品・技術の開発力 | 5. 営業力・交渉力 | 6. サービス力の高さ |
| 7. ブランド力や知名度の高さ | 8. チラシやクーポンの多さ | 9. インターネットによる販売 |
| 10. 価格の安さ | 11. 納品までの速さ | 12. 他社との技術・資本提携 |

<店舗や設備>

- | | | |
|--------------|-----------|-----------------|
| 1. 交通アクセスの良さ | 2. 店舗が綺麗 | 3. 工場や設備が新しい |
| 4. 営業時間の長さ | 5. 駐車場の広さ | 6. キャッシュレス決済の導入 |

<その他>

- | | | |
|---------------|-------------------|--------------|
| 1. 経営理念・戦略 | 2. 大手企業との取引実績 | 3. 幅広い取引先 |
| 4. 固定客の多さ | 5. 資金調達力 | 6. 人材の質の高さ |
| 7. 人材育成 | 8. 従業員が働きやすい職場づくり | 9. ICT・AIの活用 |
| 10. 人脈・ネットワーク | 11. 特になし | |
| 12. その他 () | | |

問2. 貴事業所の課題を教えてください。(複数回答可)

<製品・サービス>

- | | | |
|------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 新しい製品・サービスの展開 | 2. 製品やサービスのブランド化 | 3. 地域資源の活用 |
| 4. 製品の品質管理 | 5. 営業力・交渉力の向上 | 6. サービス力の向上 |
| 7. 広告・宣伝 | 8. インターネットを活用した予約・販売 | 9. インターネットを活用した情報発信 |
| 10. 販売価格の値上げ | 11. 納品スピードの向上 | 12. 他社との技術・資本提携 |

<店舗や設備>

- | | | |
|-------------|--------------------|-----------------|
| 1. 店舗や工場の増設 | 2. 設備投資の充実 | 3. キャッシュレス決済の導入 |
| 4. 店舗や工場の移転 | ※該当場所に○ (市内・市外・県外) | |
| 5. 営業時間の変更 | ※どちらかに○ (延長・短縮) | |

<その他>

- | | | |
|-------------------|-------------------------------|-------------|
| 1. 経営戦略・事業計画の作成 | 2. 既存顧客の囲い込み | 3. 新たな顧客の開拓 |
| 4. 事業再構築・不採算部門整理 | 5. コスト削減 | (具体的に:) |
| 6. 資金繰り | 7. 人材確保 (新規採用や離職防止) | 8. 人材育成 |
| 9. 従業員が働きやすい職場づくり | 10. 事業承継 | 11. 海外展開 |
| 12. 閉鎖・廃業 | 13. 事務所の移転 ※該当場所に○ (市内・市外・県外) | |
| 14. 特になし | 15. その他 () | |

問3. 一般消費者向けの製造・販売・サービス等を主として行っている方に伺います。主な顧客層を教えてください。

(複数回答可)

- | | | |
|-----------|--------|----------------|
| 1. 近所に住む方 | 2. 県内客 | 3. 県外客 (地域:) |
| 4. 個人客 | 5. 団体客 | 6. 外国人客 (国名:) |

7. 10代～20代	8. 子ども連れ	9. 高齢者
10. 男性客	11. 女性客	12. その他 ()

問4. **企業向けの製造・販売・サービス等**を主として行っている方に伺います。主な販売先・仕入先の所在地を教えてください。

(複数回答可)

<得意先・販売先>	1. 島田市内	2. 島田市を除く県内 (市町村名:)	3. 県外 (都道府県名:)
	4. 全国	5. 海外 (国名:)	
<仕入先>	1. 島田市内	2. 島田市を除く県内 (市町村名:)	3. 県外 (都道府県名:)
	4. 全国	5. 海外 (国名:)	

問5. 今後、新事業展開するとして、興味のある分野を教えてください。(複数回答可)

1. 環境やエコに配慮した商品・サービス	2. 地域資源を活用した商品・サービス
3. 健康志向の商品・サービス	(例: 茶・木材・バラ・蓬莱橋・帯/髷まつり・SL・温泉など)
4. 防災に役立つ商品・サービス	5. 観光客向けの商品・サービス
6. インターネット販売による販路拡大	7. 異業種との連携 (例: 大井川鐵道と連携した駅弁の開発)
8. 異業種への参入 (例: 地元木材を活用したバイオマス発電)	9. 産学連携
10. 特になし	11. その他

<○を付けた分野について、具体的な展望があればご記入ください>

雇用について

問6. 貴事業所の人員確保の状況について教えてください。

1. 大幅に不足	2. やや不足	3. 過不足はない
4. やや過剰	5. 大幅に過剰	

問7. 貴事業所の直近3年間の新規雇用者(正規社員・非正規社員問わず)の採用実績の有無を教えてください。

1. 採用実績あり	2. 採用実績なし
-----------	-----------

問8. 貴事業所の新規採用(正規・非正規問わず)の募集意向を教えてください。(複数回答可)

1. 新卒採用を行いたい	2. 新卒・中途問わず、比較的若い人材を採用したい
3. 即戦力となる人材を中途採用したい	4. 地元出身者(Uターン・Jターン含む)を採用したい
5. 経営に携わる能力をもった人材を採用したい	い
7. 非正規社員を積極的に採用したい	6. 正規社員を積極的に採用したい
9. わからない	8. 募集しない

10. その他 ()

問 9. 外国人材の雇用状況について教えてください。

1. 現在雇用している (→問 10 へ)	2. 以前雇用していた (→問 10 へ)
3. 雇用したことはないが、したいと考えている (→問 10 へ)	4. 雇用したくない (→問 11 へ)
5. その他 ()	

問 10. 問 9 で、1～3 と回答した方に伺います。外国人材の雇用に関する課題について教えてください。(複数回答可)

1. 募集しても応募が少ない	2. 雇用条件が折り合わない
3. 採用後の研修が難しい	4. 社内でのコミュニケーションが取りにくい
5. 食べ物・服装などの配慮が必要	6. 離職率が高い
7. 近隣住民とのトラブルが心配	8. その他 ()

問 11. 育児休暇・介護休暇の規定の有無を教えてください。

<育児休暇>	1. 規定あり	2. 規定なし
<介護休暇>	1. 規定あり	2. 規定なし

問 12. 貴事業所の働き方改革の取り組みについて教えてください。

実施している	実施したいができていない	実施予定はない	(←の3つのどれかに○をつけてください)
			1. 残業を減らすことを推奨
			2. 残業手当をきちんと払うことを徹底
			3. 有給休暇の取得を推奨
			4. 長期休暇がとれる仕組みの構築
			5. 産休・育休・介護休暇の取得を推奨
			6. 適切な生産計画やシフトの作成
			7. 最低賃金の引き上げ
			8. その他 ()

市の中小企業支援施策について

問 13. 島田市中小企業・小規模企業振興基本条例をご存じですか。

1. 知っている	2. 知らない・わからない
----------	---------------

問 14. 島田市産業支援センター（おびサポ）をご存じですか。

1. 知っている

2. 知らない・わからない

3. 利用したことがある（個別相談、セミナー、交流会、補助金）

問 15. 市などがおこなっている以下の中小企業支援施策について、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

利用 経験 あり	興味 あり	興味 なし	(←の3つのどれかに○をつけてください)
			1. 島田市産業支援センター（おびサポ）の個別相談
			2. 島田市産業支援センター（おびサポ）の各種セミナー
			3. 販路拡大事業（展示会開催・出展のための補助金、輸出セミナーなど）
			4. 島田の逸品
			5. 学生向け就職支援事業 （高校生／大学生向けの合同企業説明会、就職支援サイト「しまだのおしごと」、高校生向け就職応援 LINE など）
			6. 社会人向け就職支援事業 （障がい者向け職場体験会、ひきこもり等の若者向け企業見学会、女性向け就職相談窓口「ママハロ」など）
			7. 企業内子育て環境アップ事業「育メン応援奨励金」
			8. 事業承継に関する個別相談及びセミナー
			9. 設備投資に関する支援事業（先端設備等導入計画、機械や設備導入のための補助金など）
			10. 事業資金に関する支援事業（利子補給、信用保証料補助など）
			11. 企業懇話会
			12. 異業種交流会
			13. 起業・創業者支援事業（創業のための補助金、創業のためのセミナーなど）
			14. 商業活性化に関する支援事業（遊休不動産リノベーションのための補助金など）
			15. その他（ ）

問 16. 市などがおこなっている上記の施策について、**実際に利用した施策**があれば教えてください。（3つまで）

<問 15 の選択肢> <利用してよかった点・不満・要望・ご意見など>

<問 15 の選択肢> <利用してよかった点・不満・要望・ご意見など>

>

<問 15 の選択肢> <利用してよかった点・不満・要望・ご意見など>

>

問 17. 市に今後期待する中小企業・小規模企業支援策などについて教えてください。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 新事業展開支援 | 2. 販路拡大支援 |
| 3. 製品・サービスのブランド化支援 | 4. 人材確保支援 |
| 5. 人材育成支援 | 6. 事業資金融資支援 |
| 7. 設備投資への補助制度 | 8. 事業承継・再生支援 |
| 9. 福利厚生の実施支援 | 10. 地元企業との連携支援 |
| 11. 企業・商品・サービスのPR支援 | 12. 特になし |
| 13. その他 () | |

<○を付けた支援策について、具体的な要望があればご記入ください>

島田市の強み・課題について

問 18. 島田市で事業を行う際のメリットを教えてください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|---------------------|-----------------|
| 1. 交通の便が良い | 2. 工業用地が豊富 | 3. 工業用水が豊富 |
| 4. 地域資源が豊富 | 5. 観光客が多い | 6. 住宅地が近い |
| 7. 取引先が集積している | 8. 小売店やサービス店が集積している | 9. 働き手が多い |
| 10. 補助金制度が使いやすい | 11. 税金が安い | 12. 商工団体の支援が手厚い |
| 13. 金融機関の支援が手厚い | 14. 事業者間の横のつながりが強い | 15. その他 |

<○を付けたメリットについて、具体的な良い点があればご記入ください>

問 19. 島田市で事業を行う際のデメリットを教えてください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------|
| 1. 交通の便が悪い | 2. 工業用地の不足 | 3. 工業用水の不足 |
| 4. 地域資源が少ない・減少している | 5. 観光客が少ない・減少している | 6. 住宅地が遠い |
| 7. 取引先の減少(廃業・倒産など) | 8. 小売店やサービス店の減少 | 9. 働き手の減少 |
| 10. 補助金制度が使いにくい | 11. 税金が高い | 12. 商工団体の支援の不足 |
| 13. 金融機関の支援の不足 | 14. 事業者間の横のつながりが弱い | 15. その他 |

<○を付けたデメリットについて、具体的な問題点があればご記入ください>

問 20. 事業で活用している島田市の地域資源について教えてください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 活用している(地域資源名) | 2. 活用していない |
| 3. 今後活用したい(地域資源名) | |

島田市の地域資源：茶、木材、バラ、蓬莱橋、帯／鬘まつり、大井川鐵道のSL、川根温泉、大井川の伏流水など

問 21. 貴事業所が島田市と連携して実施したい事業などがあればご記入ください。

--

経営動向について

問 22. 貴事業所の直近3年間の売上高および営業利益の推移について教えてください。

<売上高>

1. 大幅に増収	2. やや増収	3. 横ばい	4. やや減収	5. 大幅に減収
----------	---------	--------	---------	----------

<営業利益>

1. 大幅に増益	2. やや増益	3. 横ばい	4. やや減益	5. 大幅に減益
----------	---------	--------	---------	----------

問 23. 貴事業所のこの先1年間の売上高および営業利益の見通しについて教えてください。

<売上高>

1. 大幅に増収	2. やや増収	3. 横ばい	4. やや減収	5. 大幅に減収
----------	---------	--------	---------	----------

<営業利益>

1. 大幅に増益	2. やや増益	3. 横ばい	4. やや減益	5. 大幅に減益
----------	---------	--------	---------	----------

問 24. 直近3年間の売上高・純利益の増減につながった内部要因を教えてください。(複数回答可)

1. 経営理念・戦略が内部に浸透	2. 新たな販売先・仕入先の開拓	3. 新規事業・新製品の開発
4. 新たな技術・設備の導入	5. 他社との技術・資本提携	6. 事業再構築・不採算部門整理
7. 資金繰りの変化	8. 商品・サービスの品質管理	9. 物流・決済の効率化
10. コストの変動	11. 海外展開	12. 広告・宣伝
13. 人材確保(新規採用・離職防止)	14. 人材育成	15. 事業承継
16. 福利厚生	17. 特にない	18. その他()

問 25. 直近3年間の売上高・純利益の増減につながった外部要因を教えてください。(複数回答可)

1. 取引先の動向変化	2. 販売単価の変動	3. 原料・燃料費・仕入価格の変動
4. 顧客ニーズの変化	5. 郊外の大型商業施設の影響	6. 県外からの競合企業の進出
7. ICT技術の進化	8. 行政等の中小企業支援策	9. 金融機関の融資条件の改善
10. 海外環境の変化	11. わからない	12. その他()

問 26. 今後の設備投資の予定について教えてください。

1. 具体的な予定がある(時期:	投資内容:)
2. 現在検討中(時期:	投資内容:)
3. 予定はない		
4. わからない		

問 27. 経営課題に関する日頃の相談先について教えてください。(複数回答可)

1. 商工団体 (商工会議所、商工会など)	2. 業界団体
3. 金融機関	4. 税理士・会計士
5. 民間コンサルタント	6. 島田市産業支援センター (おびサポ)
7. 特になし・相談しない	8. その他 ()

問 28. 後継者と事業承継の状況について教えてください。

1. 事業承継済 (次の事業承継は当面なし)	2. 後継者決定済み (親族)
3. 後継者決定済み (非親族)	4. 第三者へ事業譲渡やM & A 予定
5. 閉鎖・廃業予定 (時期:)	6. 現在検討中
7. 未定	8. 検討したことがない
9. その他 ()	

問 29. 経営上の課題や今後の展望などについて、ご自由にご記入ください。

問 30. 日頃、島田市に対し感じている不満や改善点、評価点があればご記入ください。

ご回答部門について

事業所名			
事業所長名			
所在地	〒 - 静岡県島田市		
ご回答部署名		ご回答者役職	
ご回答部署TEL	()	ご回答者お名前	
自社ホームページ	1. 有 (http://) 2. 無		
メールアドレス	1. 有 (@) 2. 無		

今回ご協力いただきました皆様方には厚くお礼申し上げます。

島田市では市内中小企業の振興のため各種施策を行っております。後日、皆様には詳しいご意見等を伺わせていただくこともございますが、その際にご協力の程、よろしく願いいたします。

(2) 訪問調査票